

# 共同作品目録

子規は、明治28年松山に療養のため帰省。52日間に亘り、漱石の下宿「愚陀仏庵」に滞在。体調のいい時、「愚陀仏庵」から出発し、松山周辺の散策を楽しんだ。その時、詠んだ句をまとめたものが「散策集」である。五回に亘る散策の足跡を辿りながら、その中の俳句を選び作品制作した。

## 中1 飯尾 彩乃

稲の穂に温泉の町低し二百軒

明治28年 季語「稲穂」季節「秋」

## 中3 弓立 美桜

水草の花まだ白し秋の風

明治28年 季語「柿」季節「秋」

## 中1 山本 周平

鳩麦や普通ひし叔父が家

明治28年 季語「鳩麦」季節「秋」

## 中3 山本 航平

松山の城を載せたり稲むしろ

明治28年 季語「稲筵」季節「秋」